

令和4年度 第1回北広島市商工業振興審議会会議録

日 程	令和4年7月1日（金）	
場 所	4階 会議室4C	
出席者	委員 (6名)	河西邦人委員、藤山康雄委員、山田久俊委員、丹野司委員、長島博子委員、的場睦子委員
	事務局	経済部長 及川浩司、農政課長 山田孝博、観光振興課長 橋本征紀、商工業振興課長 林睦晃、商工業振興課主査 勝谷亜美、商工業振興課主査 菊地和良、商工業振興課主事 山田健斗
	傍聴者	—
議事	<p>(1) 報告事項 【報告第1号】 商工業振興基本計画関連施策の実施状況について</p> <p>(2) 審議事項 【議案第1号】 第2期北広島市商工業振興基本計画の基本方針等について</p>	
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 北広島市商工業振興基本計画関連施策実施状況報告書(2021年度実施分) ・資料1-1 創業促進支援事業 ・資料1-2 商工魅力発信事業 ・資料2 第2期北広島市商工業振興基本計画の基本方針等について(案) ・新型コロナウイルス感染症対策に係る北広島市の取組 	

1 議事

(1) 報告事項

【報告第1号】商工業振興基本計画関連施策の実施状況について

<質疑応答・委員からの意見等>

委員 令和3年度中小企業者等融資事業において、融資実行件数が令和2年度と比較して減少しているが、減少の原因はどのようなものが考えられるか。

事務局 新型コロナウイルスの影響により、令和2年度の融資件数が大幅に増加したことが一因である。令和2年度は新型コロナウイルスの影響で事業者の経営状況が厳しく、一時的な資金を確保するために融資件数が通常よりかなり増加し、融資の実行金額は26億2000万円程度となった。令和3年度については、令和2年度に借入を行った事業者が一時的に多かったことと、感染状況も落ち着いたことなどから、融資状況も例年並みとなり、12億8000万円程度となった。

委員 住宅リフォーム支援事業について、令和3年度の補助交付額が昨年度に比べ減少しているのはなぜか。知人の話でも当事業の利用を考えたが、予算額に達したため、受付終了したとの声も聞くので需要は多いと思うが。

事務局 事業の担当課が市民環境部のため、詳細についてはお答えできないが、当事業は、予算の範囲内での事業となっており、年度当初に申し込みが集中したため、年度当初で受付終了ということが続いている。

委員 若年・女性・障がい者に対する雇用支援が令和元年をもって事業終了となっているが、以後それに代わる新しい事業の検討はされているのか。

事務局 現在、市独自の事業として行っているものはないが、国・北海道で実施している若者向けの就職支援事業を北広島市内の施設で行っているものもあり、北海道と連携しながら取組を進めている。今後、市独自の雇用支援事業について、次期計画の中で検討し、盛り込んでいければと考えている。

委員 新型コロナウイルスの影響によりイベント関連の事業が軒並み中止となった。感染拡大の傾向はみられるものの、政府から行動制限の緩和が示されていることから、今年度以降の事業活動に関してはどのような方針で行っていく予定か。

事務局 イベントや会議の開催についての市の方針としては、感染対策の徹底を前提とし、各部署でも検討した上で実施しているところが多い。ただし、大人数が対象となる事業については、必要に応じて中止としている。当課実施の事業に関しては、参加人数を制限する、消毒、飛沫防止対策等の配慮を行った上で実施するよう進めているところである。

(2) 審議事項

【議案第1号】第2期北広島市商工業振興基本計画の基本方針等について

<質疑応答・委員からの意見等>

委員 日本ハムファイターズのボールパークの建設に伴い、地元の事業者だけではなく、本州資本、外資がこの地域に入ってくるかと思う。

そこで、北広島市としてボールパークFビレッジ周辺の開発、それと北広島市のまちづくりをどう連動させていく予定であるか、また、本州資本及び外資の資本を含めて地域の産業活性化にどう結び付けていくのか、もし戦略があるなら、教えていただきたい。

また、最近の北広島市への投資やビジネス展開は、かなりスピーディーなので、半歩先を見て北広島市の産業やまちづくりがどうなるかを踏まえた上で、新しい視点を追加し、本州と海外資本の取り扱いについても計画に盛り込んではどうか。

事務局 ボールパーク及び駅西口開発に関しては、商工会・観光協会・工業振興会等の各種団体と意見交換し、市内事業者と連携した取り組みができるか検討している。ボールパークエリア内では、様々なイベントを実施できると聞いているので、市内事業者の出店も可能ではないかと考える。

本州・海外資本の取扱いは新たな計画でも重要な視点であり、必要な視点であると考えている。ボールパークの建設地が内定して以降、創業相談等が増加しており、これまで市内で展開がなかったような業種の参入も期待できる。ボールパーク担当部署等と連携し、情報収集しながら、どういった企業が参入してくるか実態を把握した上で既存の市内事業者とどう関わることができるか、連携した取組を検討していきたい。

委員 外国人雇用について、商工業実態調査アンケートでは、外国人の雇用に消極的な事業者が多いとの結果から、市として外国人雇用拡大に向けた取り組みが必要であると考えます。

事務局 昨年度より多文化共生推進事業として、日本語教室の開催や企業向けの外国人雇用相談会などを実施している。今年度についても継続して市内在住の外国人への支援及び市内事業者の外国人雇用拡大に向けた支援を進めていく予定である。

委員 駅西口開発について、商工業実態調査アンケートでは事業者の半数以上が、影響は特になし、わからないと回答しているため、市として開発に関する情報発信を行っていくべきではないか。

事務局 市として住民センターや芸術文化ホールにて説明会を開催しているが、駅近郊地域に在住の市民がメインとなっている。情報が不足しているという意見もいただいているので、市全域への情報発信に努め、市民の声を聞きながら開発を進めるべきと考えている。

委員 外国人雇用について、弊社も技能実習生を雇用しており、非常に優秀な人材である。人手不足が問題となっている中、身近に外国人を雇えるような政策を取り入れていただきたいと思う。

事務局 在留資格の問題など、制度の理解も進んでいないと認識している。今後も多文化共生推進事業を含め、情報を発信していきながら、制度を理解していただけるような機会を作っていきたいと考えている。

2 表決について

審議事項「【議案第1号】第2期北広島市商工業振興基本計画の基本方針等について」は、出席委員6名のうち、賛成6名、反対なしで承認された。

3 閉会